

## 透析排水管理への取り組み

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック

○丸田祥平 田中 健 林田征俊 矢野利幸 高木伴幸 澤瀬健二 橋口純一郎 原田孝司 船越哲

### 【目的】

透析排水による下水道管損傷の事例があった事もあり、2019 年版の透析排水基準が策定された。当院の透析排水処理装置は、外部委託により 2 カ月毎に点検を行っていたが、今回自施設での透析排水状況の確認を行った。

### 【方法】

酸洗浄および塩素洗浄時における排水水素イオン濃度(以下、pH) の測定および透析排水処理装置内 pH 推移と透析排水処理装置管理状況の確認を実施した。

### 【結果】

pH は酸洗浄時 4.0～7.0、塩素洗浄時 7.0～8.0 であった。透析排水処理装置内 pH は 6.5～7.0 であり基準を満たしていたものの、中和剤の注入設定が現在使用中の透析配管洗浄剤とは、ずれが生じていた。

### 【考察】

当院では、今回の透析排水状況の確認後に月 1 回の透析排水 pH 測定業務を開始した。透析排水基準遵守のためには自施設の現状を把握することが必要と考える。